

泉大津市就学前施設再編基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果について（報告）

◇募集期間：平成31年3月4日（月）～平成31年3月22日（金）

◇募集方法：郵送、ファックス、電子メール、こども育成課へ持参（また、市内公共施設等に意見書募集箱を設置）

◇提出人数：12人

◇意見件数：22件

◇意見概要及び市の考え方

	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>【魅力ある教育・保育の実施】</p> <p>・幼稚園は小学校との連携が大変良いと思う。就学予定の小学校へ訓練や体験学習の機会があり、親も子も安心することができた。幼児期には親と子の関係性を保てる保育を求める。</p>	<p>・幼稚園同様、保育所、認定こども園においても、小学校教育との円滑な接続のため、幼児や児童との交流の機会や教職員間の意見交流などを行い連携を図り、生涯にわたる人間形成の基礎を培う乳幼児期にふさわしい生活の場を豊かに作りあげていきます。</p>
2	<p>・幼稚園は、小学校と提携し津波などの避難訓練を実施している点や就学前の小学校での給食体験を実施している点が良いと思う。</p>	<p>・幼稚園だけでなく、小学校と隣接している施設は小学校と連携し、そうでない施設は地域の方々と避難訓練を実施しています。給食体験は、基本的には保育所、認定こども園でも同様に行っています。</p>
3	<p>・幼稚園がすべて認定こども園になることに反対。幼稚園と保育所では教育内容が違うと思うし、先生の負担も大きくなると思う。</p>	<p>・幼児期の教育・保育・地域の子育て支援を総合的に推進していく制度が平成27年度から施行され、本市においても、職員や園児の交流を行い、幼保一体化を進め、現在、職員については、幼稚園、保育所、認定こども園での勤務ができるようになっていきます。</p>
4	<p>・全く幼稚園をなくすことは反対。受け入れ可能人数ばかりを重視するのではなく、子どもたち1人1人の事を考えた基本計画を求める。子育てのしやすい街泉大津を目指してほしいと思う。</p>	<p>・就学前教育・保育施設では、それぞれの年齢や個々の発達に応じて活動ができるよう適切な教育・保育環境を整え、子どもの健やかな成長を保障していきたいと考えます。</p>

	意見・提言の概要	市の考え方
5	<p>【適正規模・適正配置】</p> <p>・幼稚園は、団結力や異年齢児との関わりが見られるところが少人数ならではの良さだと思う。</p>	<p>・幼児期は遊びを通して人や物との関わりを深めながら社会性を身につけることが大切です。団結力、異年齢児との関わりについても同様と考えていますので、子どもの健やかな成長を保障していきたいと考えます。</p>
6	<p>・幼稚園から認定こども園に形態が変わっても、就学前施設を同じ場所で運営できるようにしてほしい。場所が変われば、自宅から園の距離が遠くなる人が必ずいる。</p>	<p>・少子化により、幼稚園が廃園となれば、通園が遠くなる場合もあり、ご不便をかけることも考えられますが、集団活動を活かした幼児教育環境整備も必要であり、今後の市内就学前教育・保育施設の適正配置について検討していきます。</p>
7	<p>・現存幼稚園の状態の「希望すれば必ず入れる」施設は無くさないでほしい。そう遠くないところでの受け入れ先の確保を求める。その為の検討・工夫・努力を求める。</p>	<p>・施設の配置については、市内の就学前児童の人口動向、地域的なバランス、施設の状況、保護者ニーズなどを総合的に判断し検討していく必要がありますが、希望の園に入園できるよう努めていきます。</p>
8	<p>【今後の方向性】</p> <p>・幼保一体化について賛同する。教育保育内容に違いがあることで、同じ小学校に通ってもいろいろな違いが生じるのではと思う。現在の取組みとして、それぞれの特色を活かしてくれていると思うが、組み合わせさせてしまえばいいと思う。</p>	<p>・幼稚園と保育所がこれまで培ってきた実績を活かし、質の高い教育・保育を提供できるよう、幼保連携型認定こども園を推進し子育て支援の充実を図っていきたいと考えています。</p>

	意見・提言の概要	市の考え方
9	<p>・保育園・認定こども園を選ぶ人が多くなっていると思う。入園の際にとっても悩んだが、幼稚園に入園させて良かったと思う。幼稚園では、親同士も顔を合わせる人が多いので、情報を共有できたり、相談出来たりする。小学校で知っている友達が多いのも良い。</p>	<p>・幼稚園、保育所それぞれの良さを活かした就学前教育・保育施設として、認定こども園の整備を進めています。ご意見の幼稚園の良さを継承できるよう努めていきたいと考えます。</p>
10	<p>・幼稚園の保育時間も長くなり、保育所・認定こども園・幼稚園の中から親が子どもにとって良い場所を考えられて良いと思う。</p>	<p>・幼稚園と保育所がこれまで培ってきた実績を活かし、質の高い教育・保育を提供できるよう、幼稚園と保育所の良いところを併せ持つ、幼保連携型認定こども園を推進し、子育て支援の充実を図っていきたいと考えます。</p>
11	<p>【再編の基本的な考え方】 ・少子化により園所が統廃合するのは良いと思う。しかし、入園所前にその可能性について保護者に説明し、納得してもらった上で入園所してもらいたいと思う。</p>	<p>・入園募集の際に、本計画（案）で設けた「園児募集停止基準」「廃園の基準」を説明していきます。</p>
12	<p>・入園数が少ないという理由だけで地域に根付いた歴史のある幼稚園をなくさず、認定こども園になっても良いので、存続させる努力をしてほしい。</p>	<p>・少子化や多様化する子育てニーズに対応し、充実した「教育・保育」環境を提供するため、本市の幼稚園と保育所がこれまで長い歴史の中で培ってきた実績を活かしながら、総合的な子育て施策の展開と体制の構築を図っていく必要があると考えます。</p>
13	<p>・ニーズに合わせて変化していくことは良いと思う。入園希望が少なければ、閉園もやむを得ないと思う。</p>	<p>・園児数が減少している現状で、子どもにとって望ましい集団規模において、教育・保育を受けることができるよう、「園児募集停止基準」「廃園の基準」を設けるものとします。</p>

	意見・提言の概要	市の考え方
14	<p>・市内の公立園所の教育水準が、私立に比べてはるかに低い為、保育料が高くても市内外の私立園所に通わせる親が増加していると思う。公立に通う＝仕方がない、諦めというイメージがある。アセスメントして改善しない限り、問題解決には至らないと思う。</p>	<p>・公立園所では、総合的な子育て施策の展開と体制の構築を図り、教育保育水準の維持向上や特別な配慮を必要とする子どもへの支援、地域の子育て支援などを担っています。また、私立園においては、多様な保護者ニーズに対応し、特色ある教育・保育を実施しています。公民互いにそれぞれの役割を果たしつつ、就学前教育・保育を支えていくものと考えています。</p>
15	<p>【施設に関すること】 ・公立幼稚園が老朽化しているので、施設を新しくしたり修繕したりしてほしい。</p>	<p>・安全安心な教育・保育環境整備のため、園舎の修繕等必要な対応を行っていきます。</p>
16	<p>・浜幼稚園の有効活用を望む。</p>	<p>・廃園後の浜幼稚園の活用については、公共施設全体の現状等を踏まえ総合的に検討していきます。</p>
17	<p>【職員に関すること】 ・子どもたちが安全で安心して過ごすことができる環境の再構築も大切だが、まずは保育士が現場で働きやすい環境をつくらないと子どもたちにも影響が出ると思う。</p>	<p>・園所に勤務する職員が働きやすい職場環境の整備に努めていきます。</p>
18	<p>・良い先生方が辞めないように、泉大津市独自で子どもたちの育成を担う先生方の給与など待遇の改善も考えていってほしい。</p>	<p>・本市職員の給与は、原則として国家公務員に準拠した給与制度としており、独自の給与体系とすることは困難ですが、安定した人員確保の観点からも幼児教育現場の環境整備に努めていきます。</p>

	意見・提言の概要	市の考え方
19	<p>【その他】</p> <p>・幼稚園の良さをもっとアピールして幼稚園希望者を増やしてほしい。幼稚園は保育時間が短いから、保育所を選ぶという声が多い。幼稚園に延長保育があることを知らない人が多い。今の保護者の情報源はネットなので、ホームページだけでなくフェイスブックやツイッターなどを活用すれば良いと思う。</p>	<p>・ご提案の情報発信について、取り組んでいきたいと思います。</p>
20	<p>・実際に入園所した場合に、費用がいくらかかるのかを教えてほしい。安ければ幼稚園に通わせるという家庭が出てくるかもしれない。</p>	<p>・費用については、窓口や電話の問い合わせに対する説明や入園のしおりなどでご案内しているところですが、よりわかりやすく周知できるよう検討します。</p>
21	<p>・保育所では0～2歳児のクラスを増やし、3歳児から幼稚園に預けるようにすればよいと思う。</p>	<p>・現在、戒保育所において、0、1、2歳児の低年齢児保育所として運営している実績がありますが、3歳児からの転園など課題もあります。ご提案の手法については参考にさせていただきます。</p>
22	<p>・園舎の建て替えなどが難しいのであれば、現場で働いている先生を幼稚園のセールスポイントにすれば良いと思う。</p>	<p>・就学前教育・保育施設では、乳幼児期にふさわしい援助、指導の在り方について理解する園内研修などを充実させ、職員の資質向上に努めていますので、周知を図っていきたいと思います。</p>